

総務委員会資料

(仮称) 産学公民連携研究センターの整備状況について

資料 (仮称) 産学公民連携研究センターの整備状況について

参考資料 施設配置図

平成24年11月21日

総合企画局

1 (仮称) 産学公民連携研究センターの概要

(1) 整備スキーム

- ア 公募で選定した整備事業者により、市有地を貸付
- イ 整備事業者が建物を建設し、20年間保有・運営
- ウ 市が市の施設が入居する床を整備事業者から賃借



工事現況写真（9月撮影）

(2) 事業の実施体制

- ア 建物所有・建設：大成建設株式会社
- イ 維持管理：大成有楽不動産株式会社

(3) 施設概要

- ア 位置 殿町国際戦略拠点（KING SKYFRONT）
- イ 地上4階建て 敷地面積：約7,000㎡ 延床面積：約11,000㎡

◆1階 共用施設

- ・共用施設として、ホール(150席)、交流ラウンジ、カフェ等利便施設を整備
- ・川崎市海外ビジネス支援センター、UNEP連携プロジェクトが入居
 - ＜川崎市海外ビジネス支援センター＞（経済労働局）
 - ▶市内企業の海外展開支援
 - ▶海外展開ニーズを有する市内企業等の情報発信 等
 - ＜UNEP連携プロジェクト＞（環境局）
 - ▶UNEP（国連環境計画）をはじめ国際機関との連携による取組
 - ▶海外からの視察・研修の受入 等

◆2階 健康安全研究所（健康福祉局）

- ・衛生研究所の機能を高度化し、市民の健康で良好な生活環境を確保するための科学的・技術的拠点施設として整備

◆3階 環境総合研究所（環境局）

- ・公害研究所、公害監視センター、環境技術情報センターを統合・整備
- ・外部研究機関等と連携しながら、環境技術による国際貢献など総合的な研究を実施

◆4階 レンタルラボ（建物所有者が運営）

- ・ライフサイエンス・環境分野の先端的な企業・研究機関等を誘致

2 施設名称の決定について

川崎生命科学・環境研究センター

L i S E（ライズ）

Life Science & Environment Research Center

KING SKYFRONTにおける国際戦略拠点の形成を先導する中核的な施設として、近隣の企業・研究機関等と連携しながら、生命科学・環境分野のイノベーションの創出を目指す。

※施設の所有者である大成建設と市が協議して決定

3 カフェ等利便施設（障害者就労支援施設）の整備について

(1) 目的

- ア L i S Eや近隣の就業者・利用者の利便性の向上
- イ 拠点形成を先導する中核施設としての価値の向上
- ウ 障害者の就労支援の場の整備による地域社会福祉の増進

(2) 経過

- ア 産学公民の連携を促進するため、L i S E 1階に交流ラウンジの設置を計画
- イ 平成22年12月、殿町地区の地権者より、福祉分野及び殿町に活用してほしいとの意向で「川崎市ふるさと応援寄附金」を受納
- ウ 交流ラウンジ内に障害者が働く利便施設（カフェ・売店）を設置するにあたり、寄附金を活用することとしたもの

(3) 事業の概要

- ア 運営主体
 - ・福祉事業者（社会福祉法人、株式会社等）
- イ 事業スキーム
 - ・市が、運営主体を公募。11月20日の審査委員会において、優先交渉権者を決定
 - ・市が、運営主体に交流ラウンジ内の出店スペースを無償貸付
 - ・運営主体が、自立支援法の就労支援サービス事業所としてカフェ・売店を整備
 - ・運営主体は、障害者自立支援法の就労サービス事業の指定を受けて運営
 - ・5年間のカフェ・売店等利便施設の運営を義務付け（更新も可）
- ウ 初期費用への市費の負担
 - ・「川崎市ふるさと応援寄附金」を財源として、市が初期費用を補助（上限1,500万円）

(4) 優先交渉権者の決定について

ア 優先交渉権者

社会福祉法人 長尾福祉会

- ・平成11年設立の社会福祉法人（主たる事業所：宮前区神木本町）
- ・新施設として市内で初めて就労移行支援・就労B型事業所として「セルフきたかせ」を開設（平成19年4月）
- ・現在、市内において5つの障害福祉事業所、2つの保育所、ケアホーム3施設等を運営

イ 優先交渉権者の提案概要

障害者の就労支援施設として、カフェ・売店を整備・運営する。

ア) カフェの整備・運営

- ・有名コーヒーチェーンと連携し、調理師とフロアマネージャーの派遣を受け、高品質で洗練されたカフェの運営を目指す。
- ・同チェーンの質の高いコーヒーやクッキー、サンドイッチ等を提供
- ・就労者（障害者）は、職業訓練として、食事・飲料の販売と提供、エスプレッソマシンの操作、調理補助等を担当

イ) 売店の整備・運営

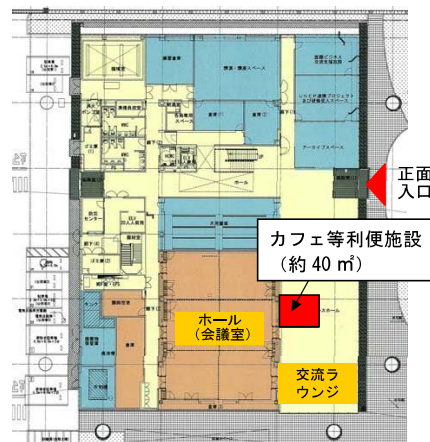
- ・コンビニチェーンと連携し、小規模店舗のノウハウを活かして運営
- ・利便性を高めるため、入居者のニーズに合わせた品揃えを図る。
- ・就労者（障害者）は、職業訓練として、商品の陳列、販売、発注業務等を担当

ウ) その他の提案

- ・連携先であるカフェの高い知名度を活用した、様々なメディアへの掲載によるPR
- ・カフェのコーヒーや軽食、売店の商品等のLiSE内及び周辺施設への配達業務
- ・既存施設で実績のある、メール便の集荷・配達事業を実施 等



カフェ・売店整備イメージ



LiSE 1階平面図

4 4階 レンタルラボの誘致状況

(1) レンタルラボ概要

- ア 建物所有者が研究機関等を誘致
- イ スケルトンで入居者に引き渡し
- ウ 入居者が内装工事を実施
- エ 床面積：約2,000㎡

(2) 誘致状況

ア 契約済

◆ (株) エスアールエル：約510㎡

- ・臨床検査受託分野の大手企業
- ・味の素との連携により、アミノ酸分析等を実施

◆ (株) 天然素材探索研究所：約140㎡

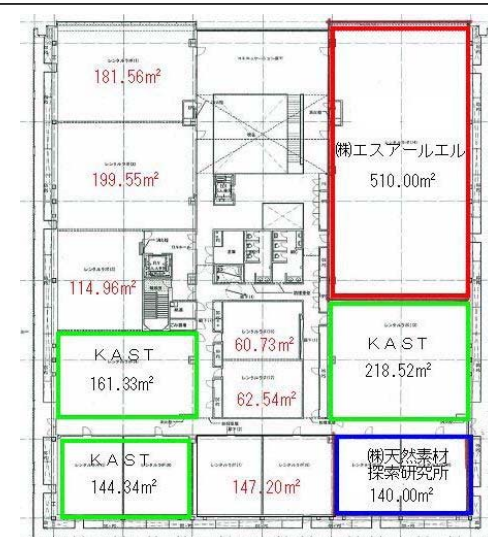
- ・機能性食品や再生医療分野の有効性試験の受託企業
- ・主として開発段階の実験や動物実験に係る分析も受託

◆ (財) 神奈川科学技術アカデミー (KAST)：約525㎡

- ・県内の科学技術の振興や地域中小企業を支援するため神奈川県が設立した公益法人
- ・血中がん診断装置開発、科学的根拠のある機能性食品等の評価・創出などの研究事業を実施予定

イ 今後の誘致

- ・医療機器・医薬品メーカー、医薬品製造企業など（調整中）



LiSE 4階平面図

5 スケジュール

	平成24年		平成25年			
	11月	12月	1月	2月	3月	4月
施設全体	建設工事		竣工・引渡し	テナント工事		
レンタルラボ (4階)				テナント工事・入居		
環境総合研究所 (3階)			移転作業	運営開始		
健康安全研究所 (2階)				移転作業	運営開始	
カフェ等利便施設 (1階)		基本協定締結	使用貸借契約締結	内装工事・運営準備		運営開始

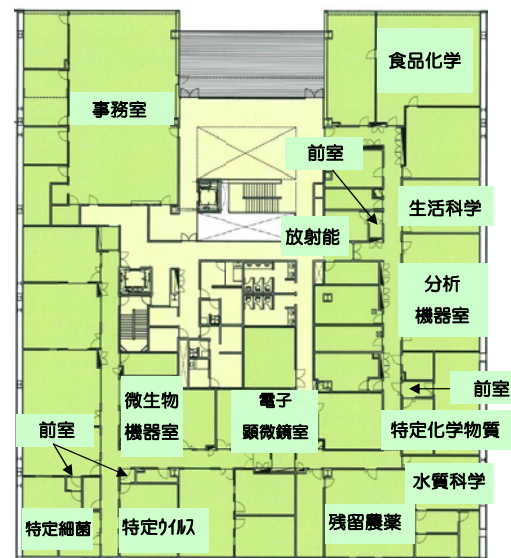
施設配置図

参考資料

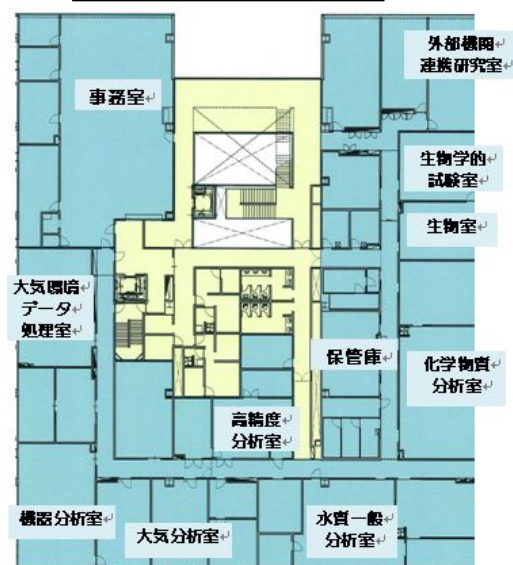
【1階 共用施設】



【2階 健康安全研究所】



【3階 環境総合研究所】



【4階 レンタルラボ】

